



059 風が通り抜ける家

松田信幸

Y邸

松田信幸建築研究所



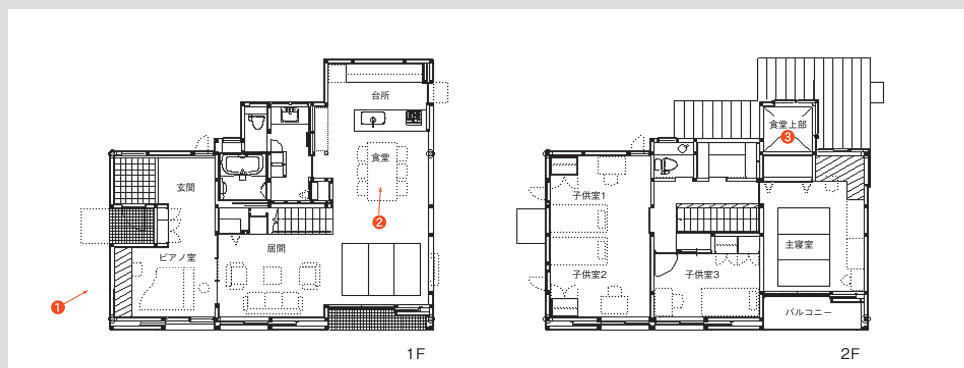
まつだ・のぶゆき／1952年生まれ。1972年(株)笹川スエロ設計事務所入所(東京都)。1980年(株)椎名政夫建築設計事務所入所(東京都)。1994年松田信幸建築研究所開設(東京都)。2003年(有)松田信幸建築研究所開設(宮崎県)。

設計者から

建築主はまだ20代、30代と、とても若いご夫婦です。すでに一男が誕生しており、数カ月後には次の出産が予定されておりました。お話を伺った時点ではまだ土地を取得しておらず、まず土地を探すことから始めました。しばらくして運良く探していた地域に公社の入札方式による土地の販売計画があることを知り、それに応募してみることにしました。この場所は住宅エリアとして人気が高く、周囲に比べると価格も高いので全体予算を考慮して一番小さくて不整形な土地を選び、入札前に数案の平面図を作成してこの土地で良いかどうかを協議すると共に入札価格についても何度も打合せを重ねました。結果的に競争倍率が一番となりましたが、僅差で落札をすることができました。いよいよ設計が始まります。

建築計画は建築主から出された基本要件に加えてに南国の地域環境に建つ住宅として通気および台風対策を考慮してこれを単なる対策にとどめず、他の機能も含めてデザイン性にまで発展させていきたいと計画しました。通気計画は1階および2階屋根にそれぞれレベルの違う通気と採光を兼ねたハイサイドライトを設け、風のない日でも空気が流れるようにすること、さらに日中いっぱい陽光の恩恵を受けられる空間構成を考えました。

比較的大きな窓には台風対策として防音雨戸があり、それが仕舞い込まれている部分を二重壁にしてその存在を表層から消し去りました。その二重壁によってできた奥行き部分を窓の庇の機能として利用することで新しいデザインが誕生しました。内部の空間構成は階段、水周りなどの共用部を中心にして、それを取り囲むように各室を配置しました。そのことで家族が自然と集う場所ができ、小さい子どもの遊ぶ様子が伺え、無駄な空間は消えて主婦の動線が簡略された住宅が出来上がったのではないかと考えます。建築主からとても快適だとの評価をいただき満足しています。





①正面アプローチ側。台風が頻繁に訪れるため台風対策とアットホーム性を持つ普段着のデザインに②居間からキッチンを見る。明るい日射しが常にキッチンに入り健康的ですがすがしい ③ハイサイドライトから風が通り抜け光が室内を照らす

U邸



①鉄筋コンクリートの基壇に集成材のトラスを載せた。耐震性に優れ、外壁のガルバニウムが清々しい②スギ材によるトラス構造と登り梁によって、内部は大空間に

住み手から

建築家の出会いと依頼を決めたきっかけは？

親戚の紹介。土地を生かした設計プランに共感しました。

住まいづくりにあたり何を一番建築家に要望しましたか？

ピアノ室の在り方。防音スタジオとして孤立せずに日常生活と同居した身近な存在にしたいことが希望でした。

実際に住んでみての感想を一言

子どもたちが自然にピアノと触れ合えるようになりました。

松田さんでどんな人？

情熱的でこだわりのある方。

DATA

名称	Y邸	施工	(有)水野組
所在地	宮崎市花山手	設計期間	2004年11月～2005年4月
用途地域	第1種低層住居専用地域	総工事費	1,900万円
構造・規模	木造在来工法 地上2階	設計監理費	150万円
敷地面積	245㎡		(総工事費の8%)
建築面積	94㎡	家族構成	夫婦+子ども3人
延床面積	154㎡		(将来を含めて)
設計監理	(有)松田信幸建築研究所		

名称	U邸	設計監理	(有)松田信幸建築研究所
所在地	宮崎県延岡市北浦町	構造設計	(有)SAS構造設計
用途地域	都市計画区域外	施工	黒木建築
構造・規模	鉄筋コンクリート造+ 木造トラス工法 地上2階	設計期間	2003年7月～2003年11月
敷地面積	187㎡	総工事費	2,300万円
建築面積	126㎡	設計監理費	200万円
延床面積	183㎡		(総工事費の9%)
		家族構成	夫婦+子ども1人

松田信幸建築研究所

所在地	REG 宮崎県延岡市北浦町市振31番地 〒889-0302 SOHO 宮崎市生目台西 2-4-1 〒880-0943
TEL	0985-88-7850
FAX	050-6620-2660
URL	http://www1.bbiiq.jp/nobuarch/index.html
E-mail	nobuarch@yahoo.co.jp
最寄駅	JR 宮崎駅
業務時間	9:00～18:00 (日、祝休)
住宅以外の設計	集合住宅、商業および公共建築などの設計監理

住宅設計で大切にしていること

建築主の考えを引き出すことです。それが設計の母体となるからです。しかし引き出したことを鵜呑みにするというわけではありません。それが行き着く先まで充分協議して母体と成り得ることを確信します。そこから設計が始まります。その母体を基にいろいろな可能性を導き出しながら建築の核と成り得るものを探し出していくことが設計する上で大切だと考えています。

得意分野

住宅を始めとして建築と使う人との関連性に富んでいるもの。

家づくりへのアドバイス

改めてご自分を知ることの思いを巡らせてはいかがでしょうか。本当は何を求めているのか自身に問い尋ねてみることから見えてくることもあるかもしれません。

私はこんな人間です

好きな場所/カブリ島 好きな建築/ロンシャン教会堂 好きな映画/北の国から 好きな音楽/ギドン・クレメル、ピアノソナなど 好きな画家/フェルメール、マティス、エゴン・シーレ 愛読書/司馬遼太郎著、幕末期の人物作品 座右の銘/為せば成る 建築家になろうと決めたきっかけ/自分にしかできないことをしたい 今一番の関心事/どうなるのか日本！